

**うきは市上水道事業に関する
アンケート調査報告書**



平成 27 年 10 月

うきは市

目次

1	調査概要	2
2	標本構成	
問1	①お住まいの行政区	4
	②家族の人数（本人や同居人を含む同居者数）	7
	③回答者の年代	7
	④回答者の性別	8
	⑤回答者の住居	8
	参考資料	9
3	調査結果	
問2	一番よく使う飲用水の種類	10
問3	家の蛇口の水の飲み方	11
問4	水の再利用の状況	12
問5	自宅の水量について	13
問6	自宅の水質について	14
問7	水質の実態	15
問8	上水道の重要性（上水道事業で重視すべきもの）	16
問9	上水道への加入について	17
問10	上水道への加入時期について	20
問11	自由意見	21
4	資料（調査票）	24

1 調査概要

調査目的

市民の皆様へ、安全安心な水を将来にわたって確保し、かつ地域や産業を支える社会基盤の充実を図るための上水道の整備にあたって市民の皆様にご意見を伺い、事業内容に反映させることを目的に実施しました。

調査期日

平成 27 年 7 月 15 日（水）～ 平成 27 年 7 月 31 日（金）

調査方法

- (1) 対象地域：うきは市内全域
- (2) 調査対象：全世帯（平成 27 年 6 月 26 日現在の市内 10,930 世帯のうち、発送前に死亡・転出等の理由により消滅した世帯及び外国人世帯で在留資格を有する者のいない世帯を除いた 10,872 世帯から宛先不明で郵送できなかった世帯を除く 10,782 世帯）
- (3) 調査方法：住民基本台帳より平成 27 年 4 月 2 日までに 18 歳以上である者を各世帯から 1 名抽出し、郵便で依頼した。ただし、受取人（宛名の方）が回答できない場合は、同一家族の方が回答されるようお願いした。
- (4) 回収方法：郵送による送付回収

回収結果

- (1) 配布数：10,872 通
- (2) 有効配布数：N=10,782 通（全世帯のうち配布できたもの）
- (3) 回収枚数：5,307 通
- (4) 回収率：49.2%
- (5) 有効回答数：n=5,297 通（全質問に無回答だったものを除いた数）
- (6) 有効回答率：49.1%

標本誤差

アンケート結果には考慮すべき多少の誤差が生じますが、それぞれの回答結果について、統計学では以下の公式で誤差の範囲を求めることができます。

今回の調査では、信頼度 95%（100 回中 95 回はこの幅に収まる）で考えると、誤差は±1%以内となります。

つまり、ある設問に対する回答が 10%であった場合、何度アンケートを行ってもその回答は 9%から 11%の範囲となることが証明されており信頼できるものといえます。

$$\text{標本誤差（信頼度 95\%の場合）} = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

N=各世帯 18 歳以上の男女 10,782 人、n=有効回答数 5,297 件、P=回答

回答 P	10% 又は 90%	20% 又は 80%	30% 又は 70%	40% 又は 60%	50%
誤差の範囲	±0.6%以内	±0.8%以内	±0.9%以内	±0.9%以内	±1.0%以内

報告書の見方

グラフの「n値 (number of case)」は、有効回答数（有効標本数）を表しています。

調査票で、回答が示されていない又は回答の判別が著しく困難若しくは選択肢の中から1つを選ぶ単数回答方式であって2つ以上の回答がされた場合は、「不明・無回答」としました。

回答結果の割合（%）は、有効回答数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しました。そのため、選択肢の中から1つを選ぶ単数回答方式であっても、合計値が100.0%にならない場合があります。

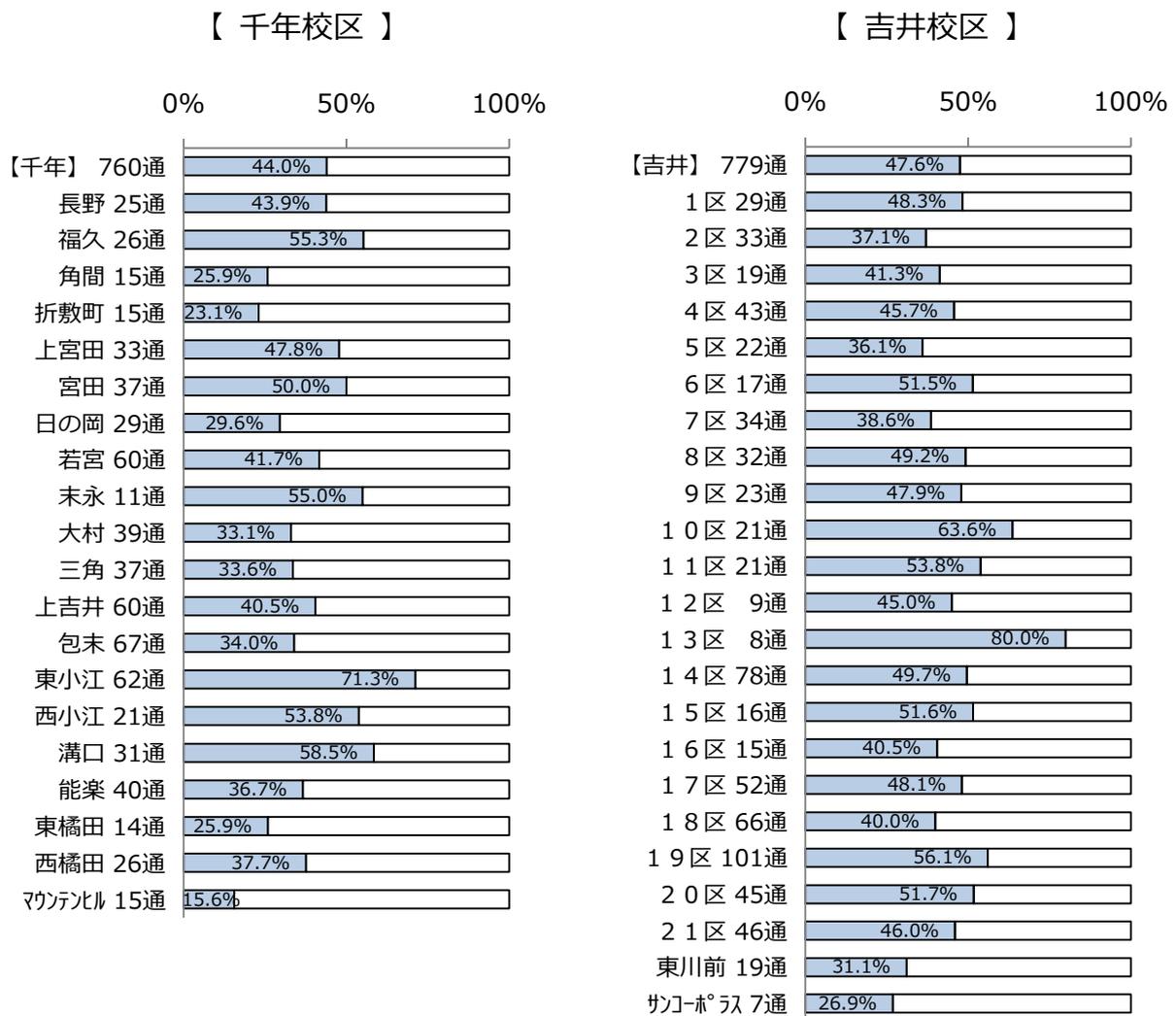
選択肢の中から2つ以上の回答ができる複数回答方式の設問の場合は、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。

2 標本構成

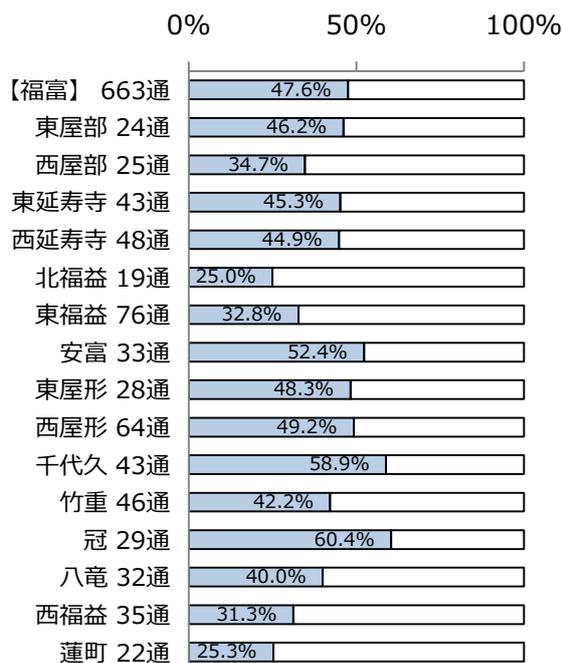
問1-① お住まいの行政区

各行政区の回答数と回収率（提出率）は、次のとおりです。（注：各行政区の世帯総数には平成27年6月末現在の在留資格のない外国人世帯を含むため、実際の配布枚数と若干の誤差が生じる場合があります。また、校区全体の回答数には、行政区名が不明でも校区が判別できるものを含みます。）

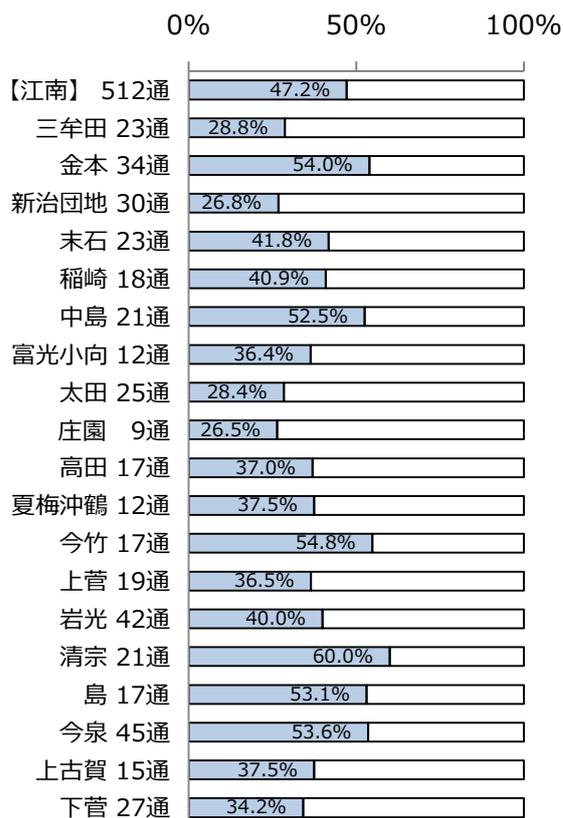
n = 5,108（校区不明を除く）



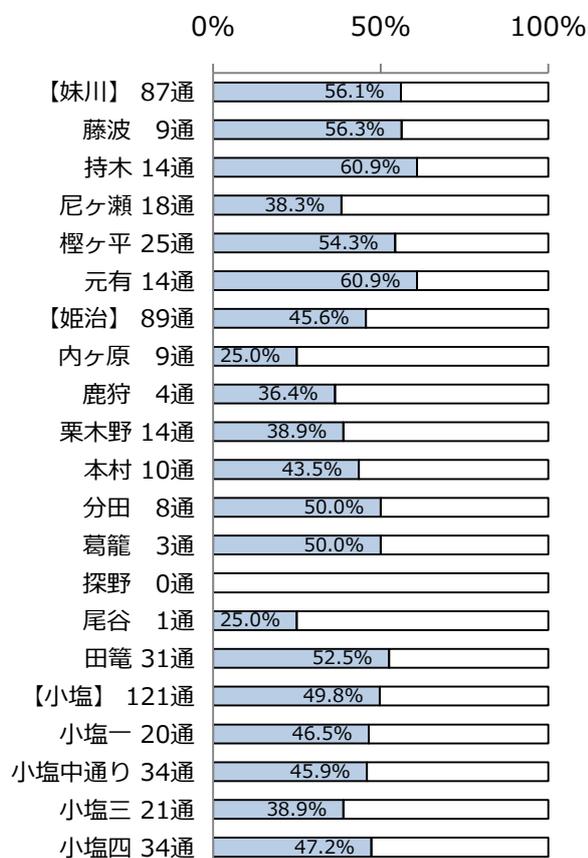
【 福富校区 】



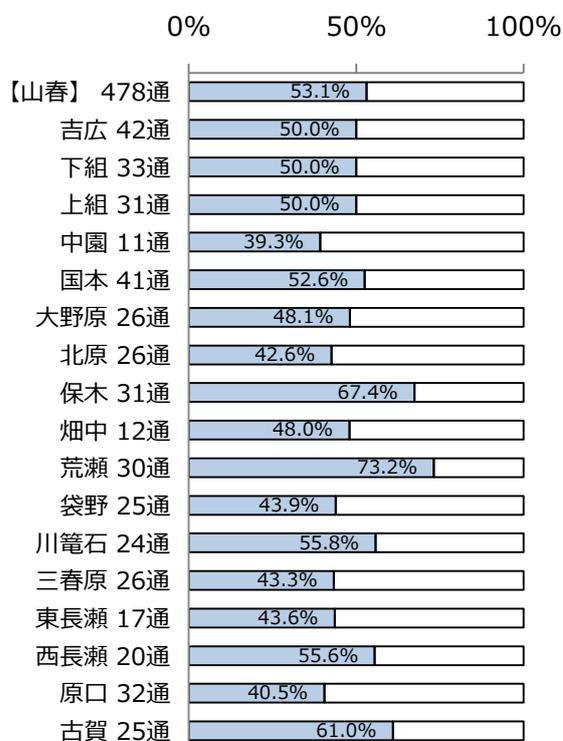
【 江南校区 】



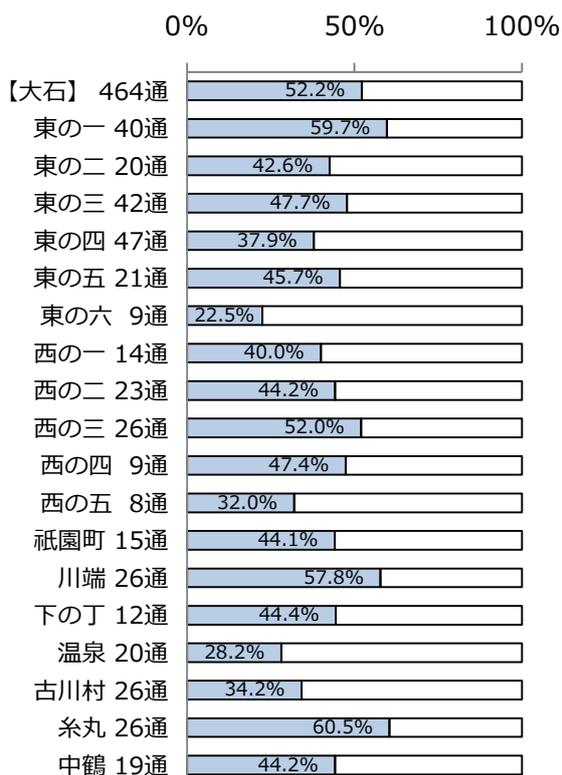
【 妹川・姫治・小塩校区 】



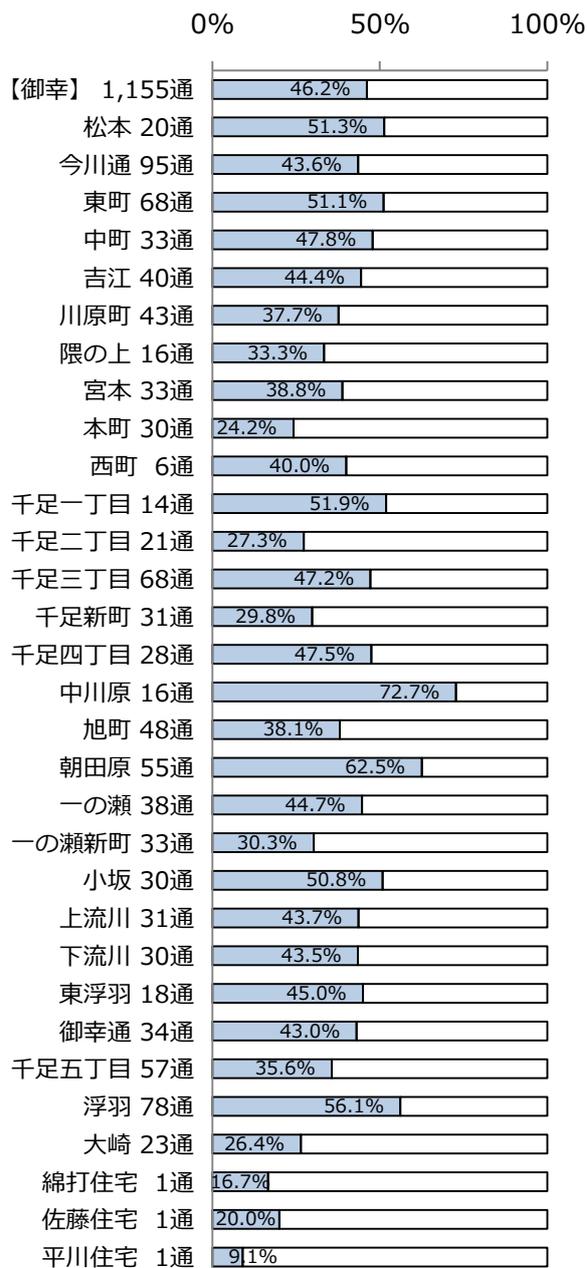
【 山春校区 】



【 大石校区 】

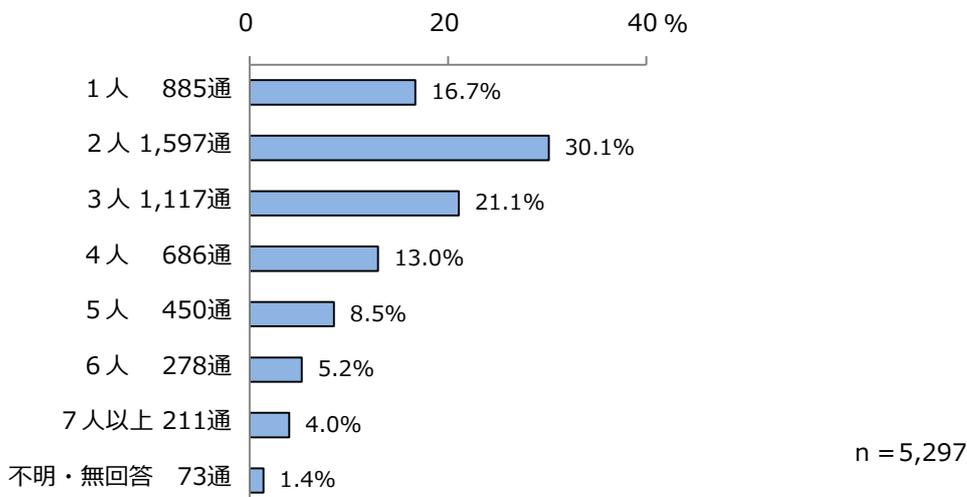


【 御幸校区 】



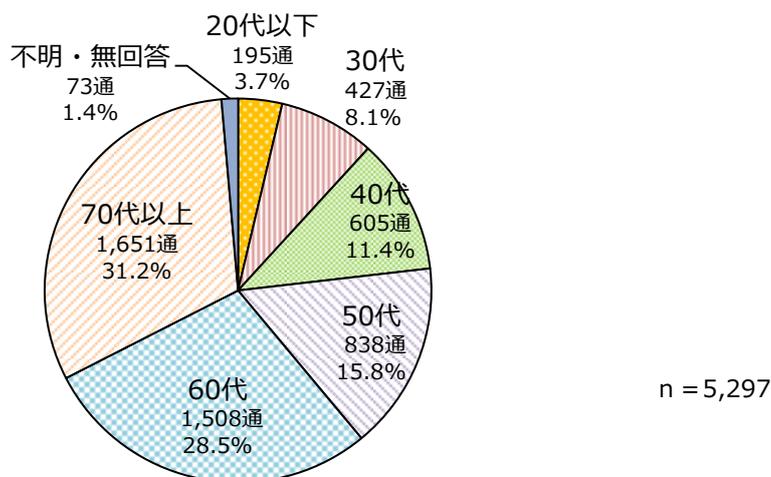
問1-② 家族の人数（本人や同居人を含む同居者数）

回答のあった世帯人数の回答数と割合は次のとおりです。2人暮らしの方が最も多くなっています。

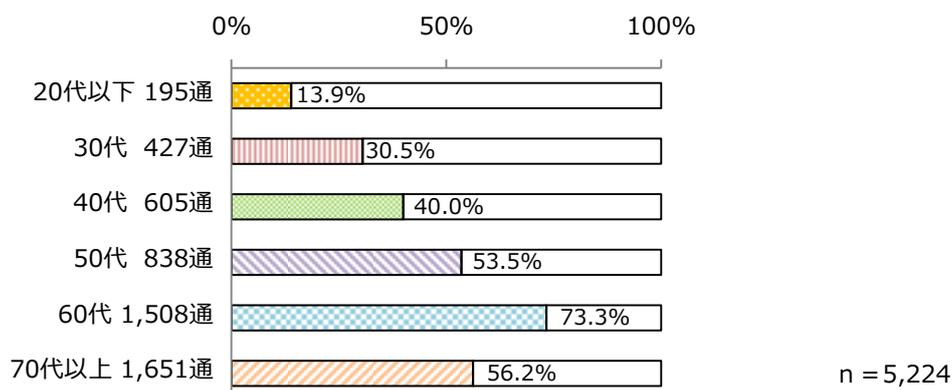


問1-③ 回答者の年代

回答者の年代について、回答数と世代間の割合は次のとおりです。回答者の6割が60代以上となりました。

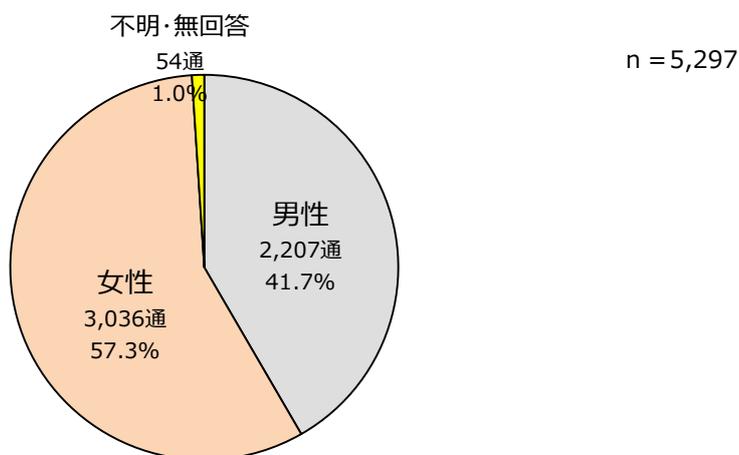


また、全世帯数に対して各年代が占める割合に対する調査票の回収率（提出率）は次のとおりです。60代の回収率が73.3%と最も高くなりました。

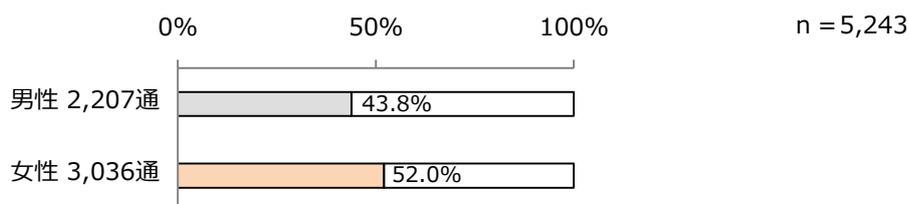


問1-④ 回答者の性別

性別について、回答数と男女の割合は次のとおりです。

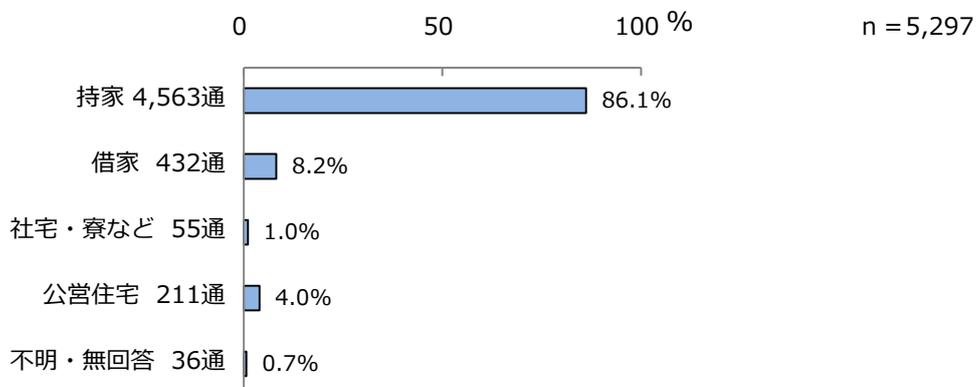


また、全世帯数に対して男女が占める割合に対する調査票の回収率（提出率）は次のとおりです。



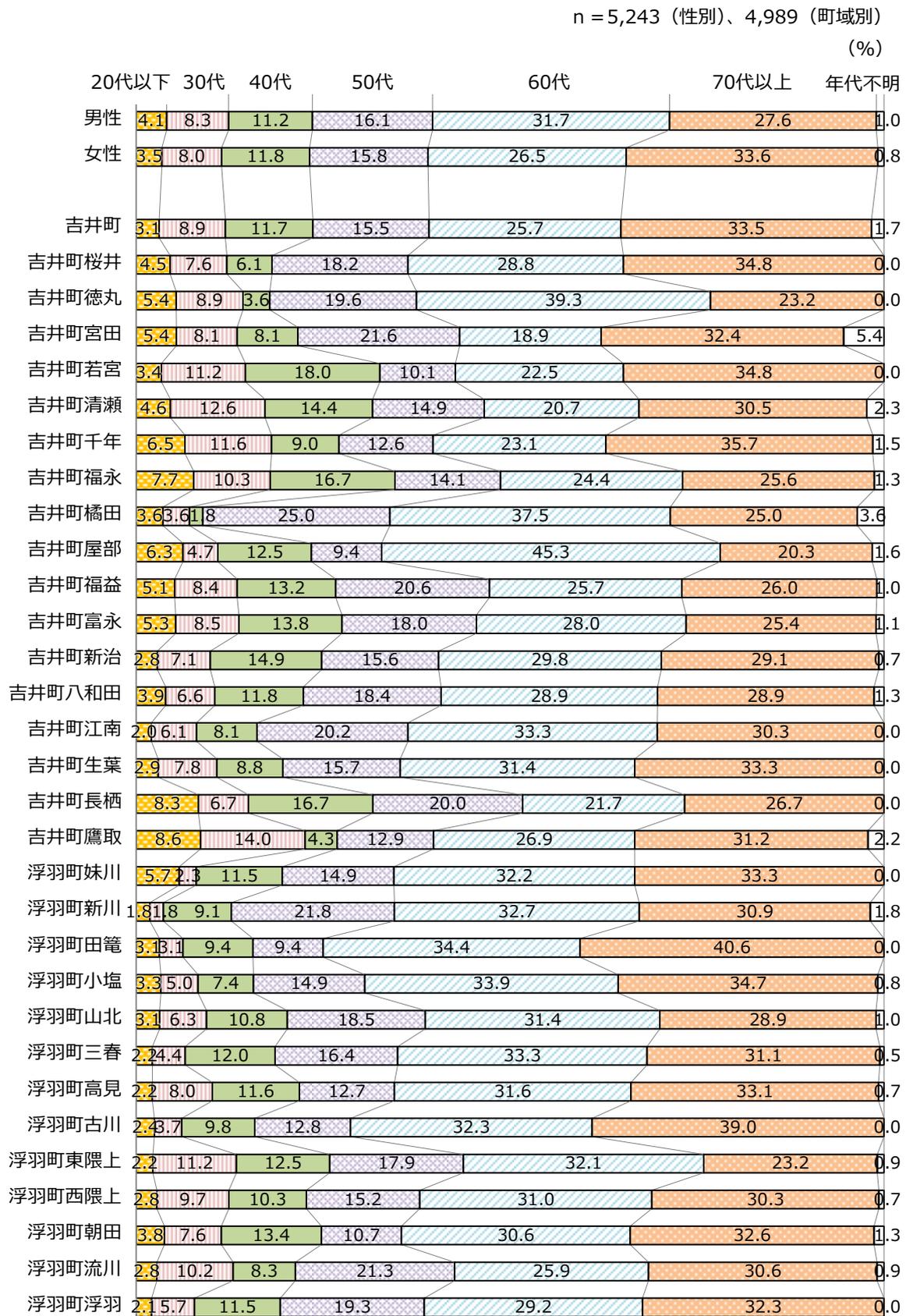
問1-⑤ 回答者の住居

住居について、回答数と回答割合は次のとおりです。持家（本人・家族の所有）の回答が86.1%と多数でした。



問1 (参考資料)

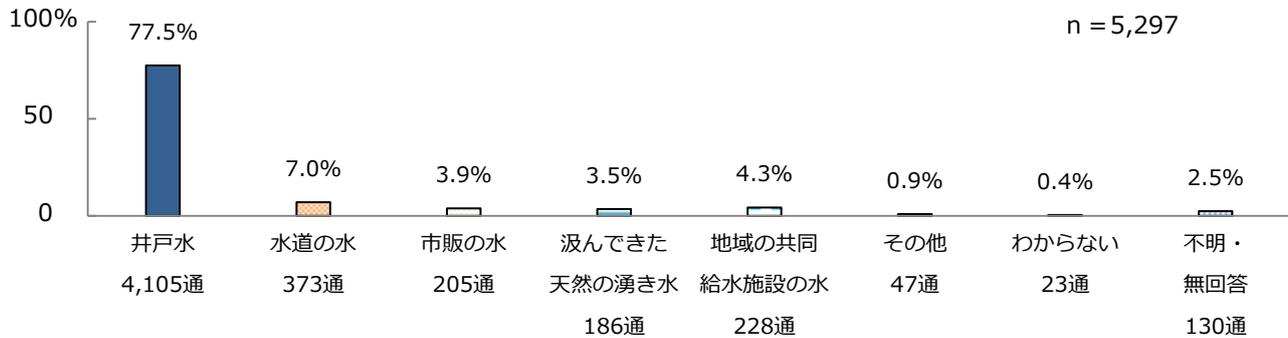
性別及び町域別に対する年代別のクロス集計は、次のとおりです。



3 調査結果

問2 一番よく使う飲用水の種類

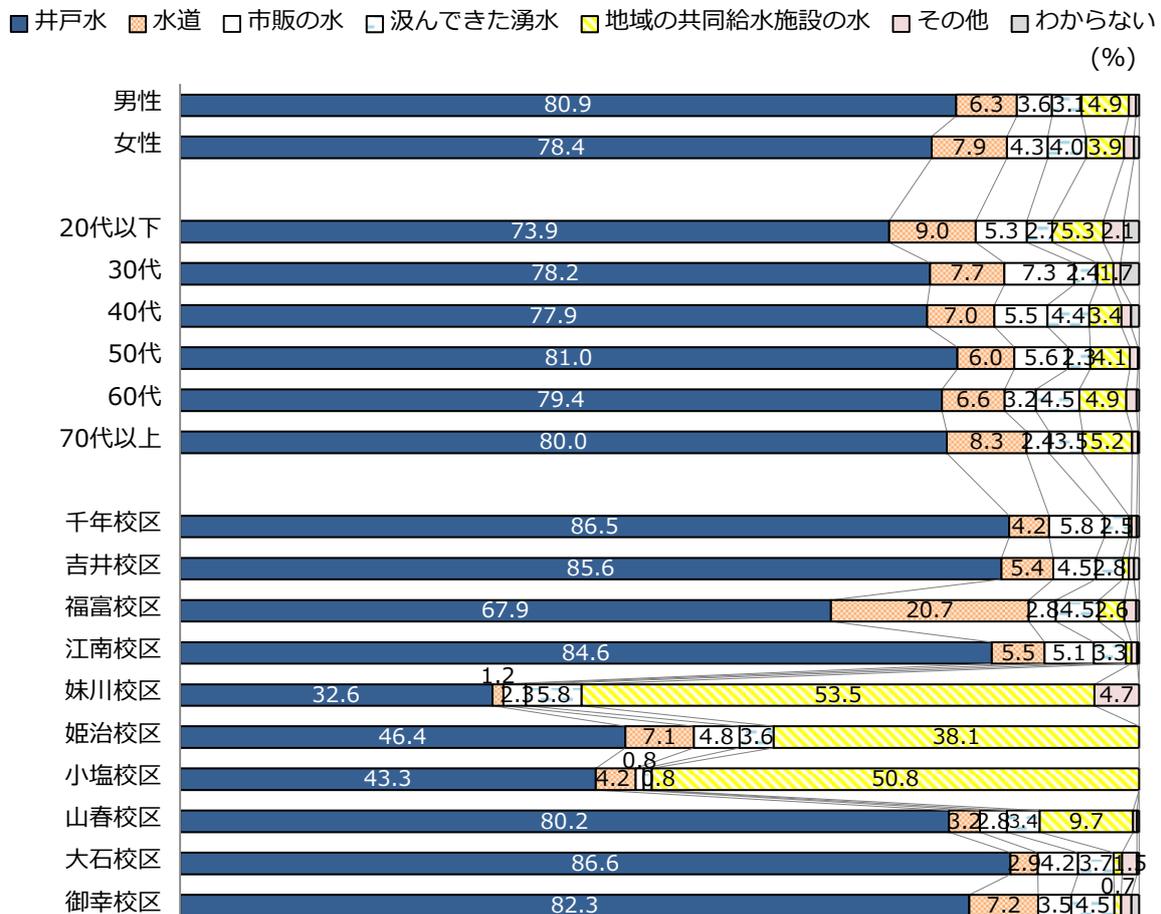
一番よく使う飲用水として「井戸水」の利用が77.5%となっています。「その他」の内容では、『市内のスーパーマーケットや農産物直売所の水を汲んでくる』、『親族や知人からもらう』などの回答がありました。



「水道の水」・・・うきは市では簡易水道（富永・鷹取地区）と専用水道（一部の公営住宅等）が該当
 「共同給水施設」・・・複数の世帯が共同運営する給水施設で、山間部を中心に設置されている

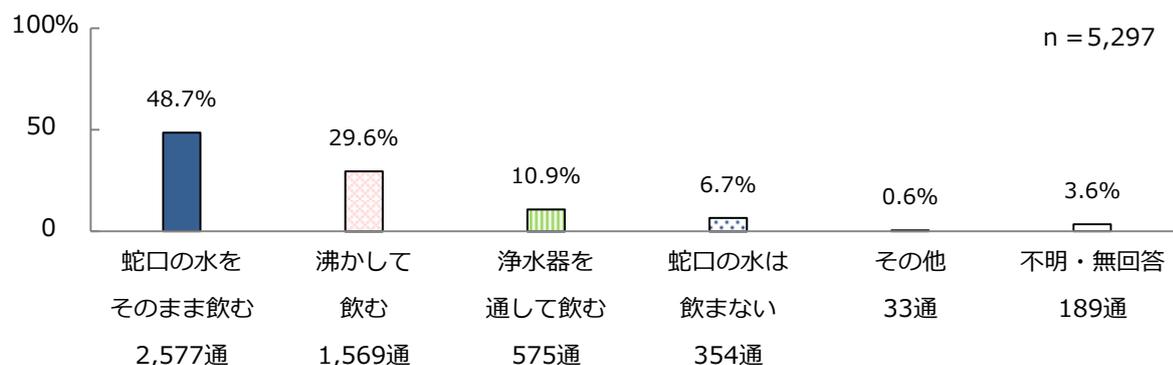
性別、年代別、校区別の詳細は次のとおりです。

n = 5,128（性別）、5,110（年代別）、4,996（校区別）

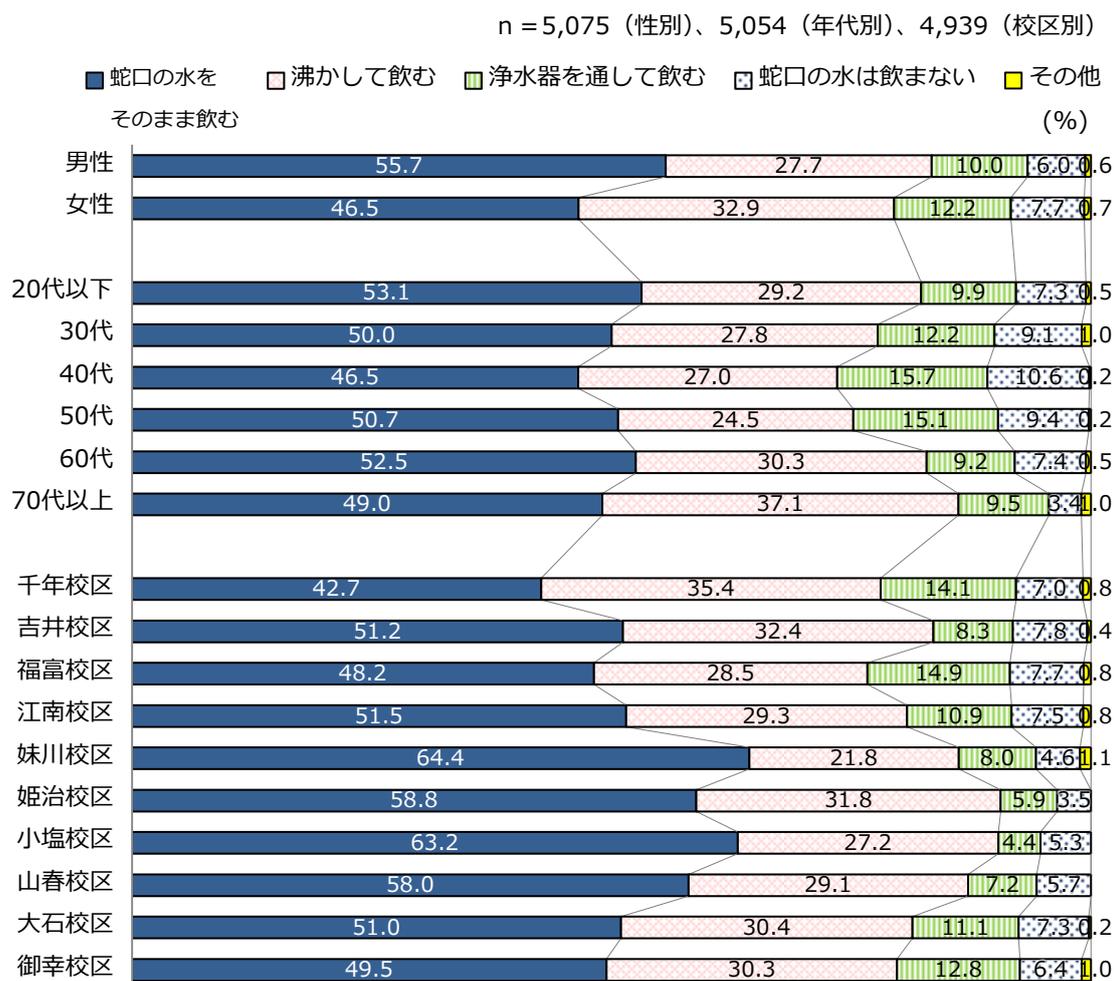


問3 家の蛇口の水の飲み方

「蛇口の水をそのまま飲む」と回答した方は48.7%でした。「沸かして飲む」が29.6%、「浄水器を通して飲む」が10.9%、「蛇口の水は飲まない」が6.7%となっています。「その他」の意見としては、『用途に応じてさまざま』『浄水器を通して水を沸かして飲む』『しばらく出して飲む』『冷蔵庫で冷やして飲む』などの回答がありました。

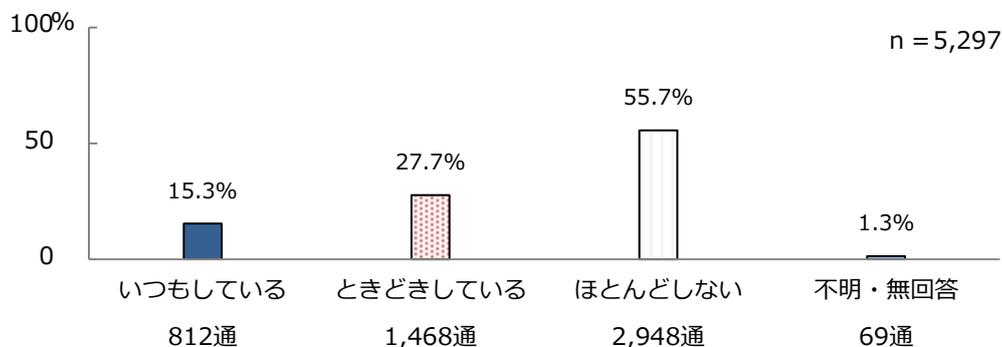


性別、年代別、校区別の詳細は次のとおりです。

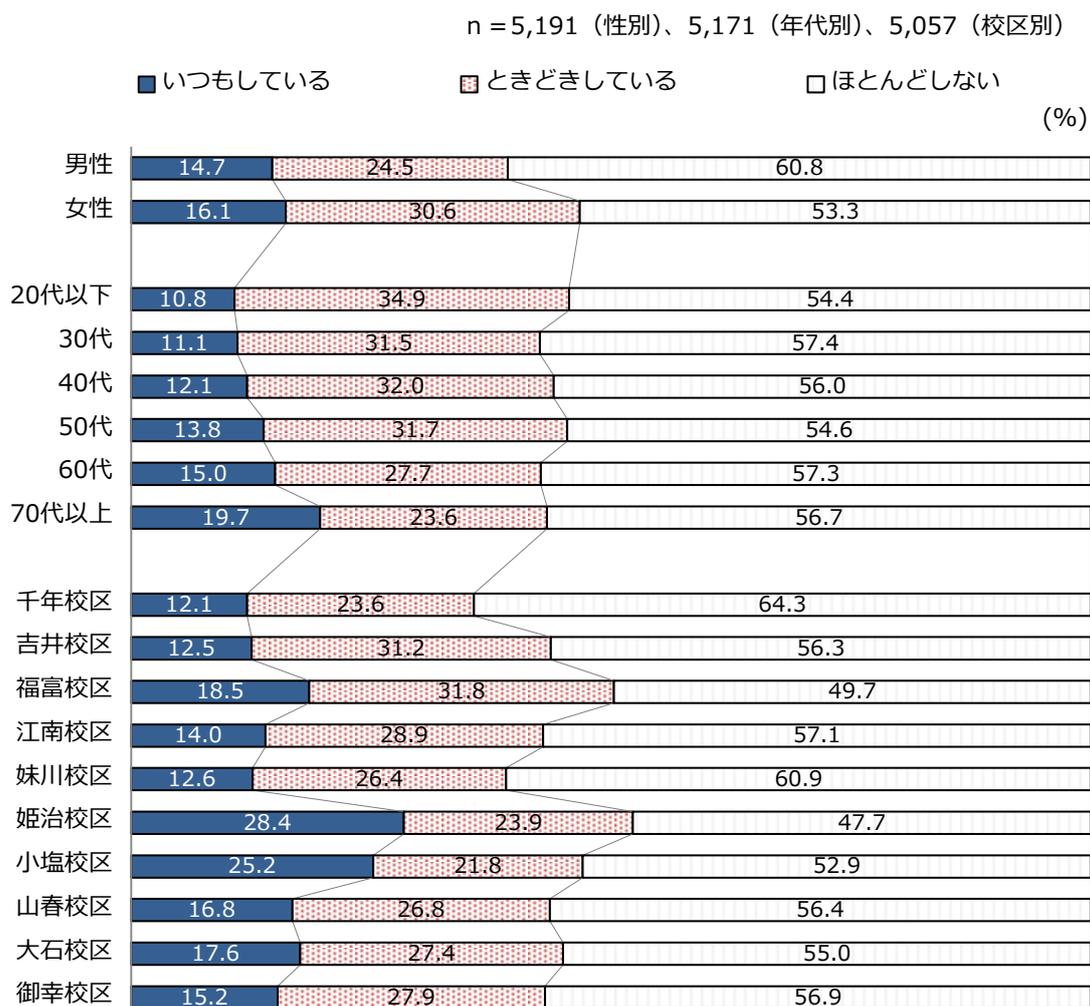


問4 水の再利用の状況

水の再利用や節水の状況について、「ほとんど再利用や節水をしない」と回答した方が55.7%と過半数を占めた一方で、「いつも再利用や節水をしている」と回答した方は15.3%でした。

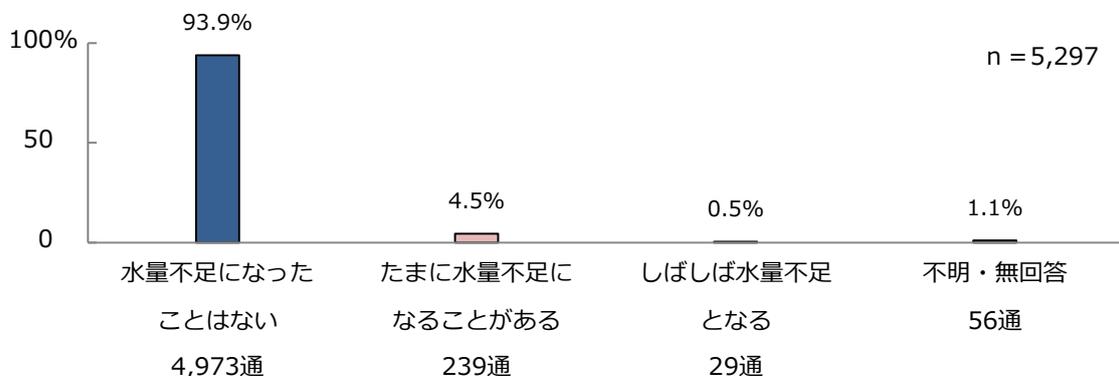


性別、年代別、校区別の詳細は次のとおりです。

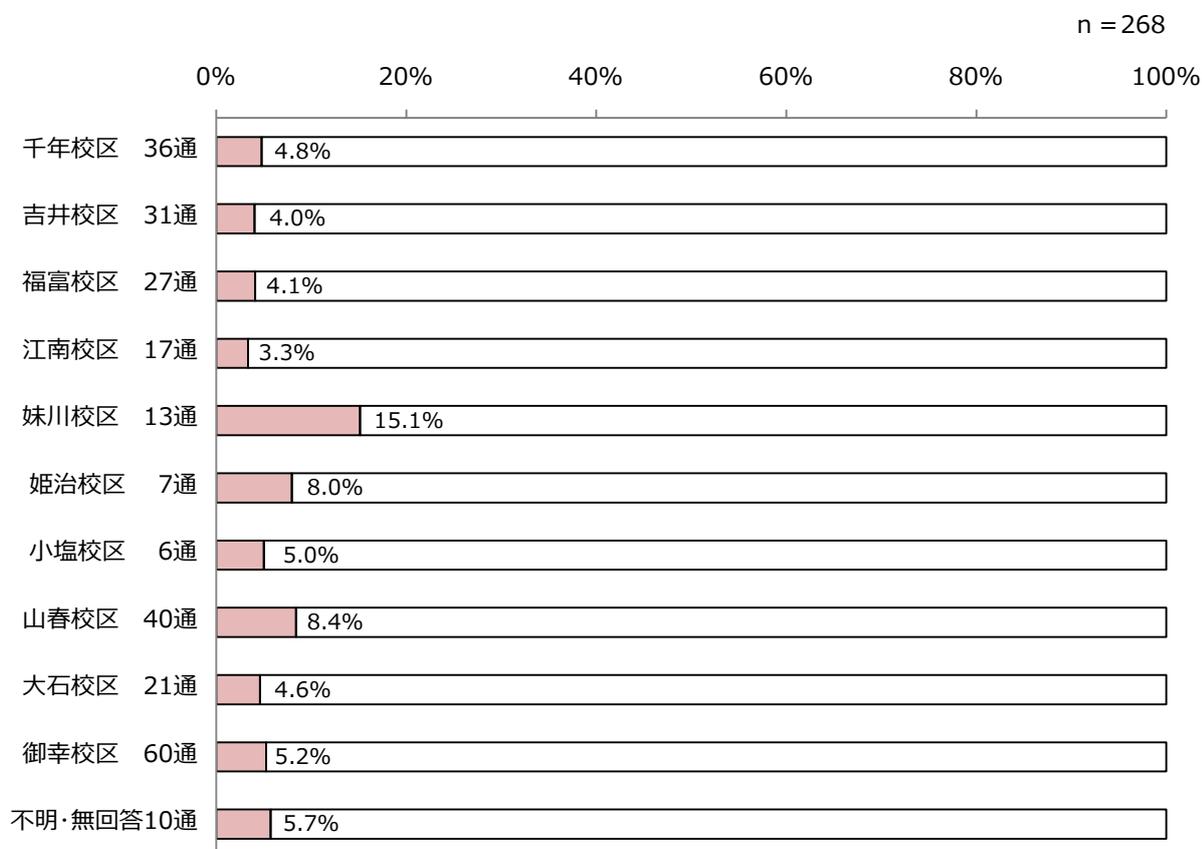


問5 自宅の水量について

現在使っている水の水量について 93.9%の方が「水量不足になったことはない」と回答し、「たまに水量不足になる」又は「しばしば水量不足になる」と回答された方は合わせて 5.0%でした。

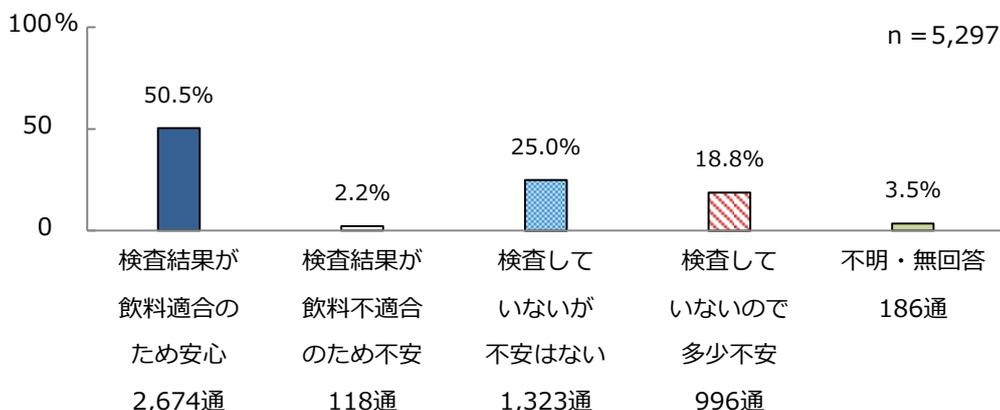


「たまに水量不足になる」又は「しばしば水量不足になる」と回答した方の、校区別の回答数、及び校区全体の回答数に対する出現率は、次のとおりです。



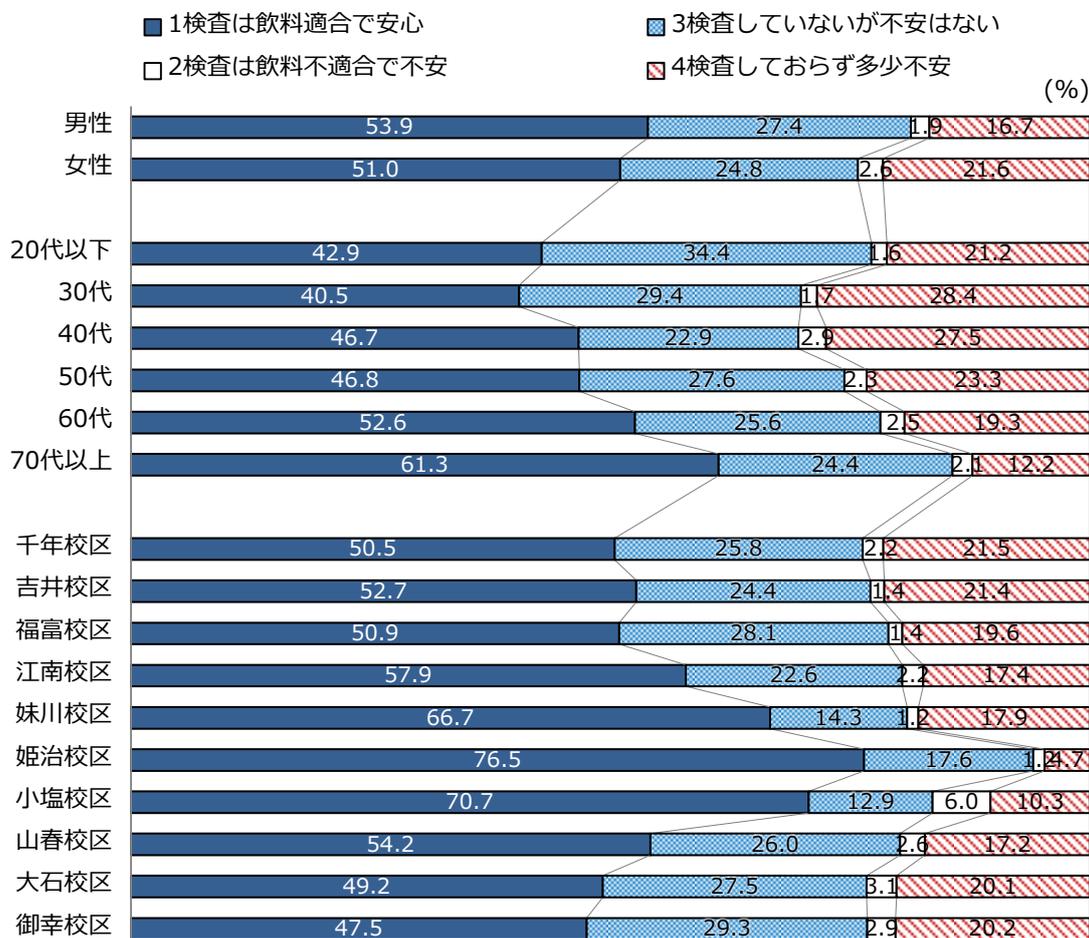
問6 自宅の水質について

「検査結果、飲料適合の判定なので安心していている」と回答した方が50.5%と半数を占め、「検査はしていないが不安はない」と回答した方を含めると、75.5%の方が安心又は不安はないと答えています。一方で、不安があると答えた方は、「検査の結果、飲料不適の判定で不安である」と「検査をしていないので多少不安がある」を合わせて21.0%でした。



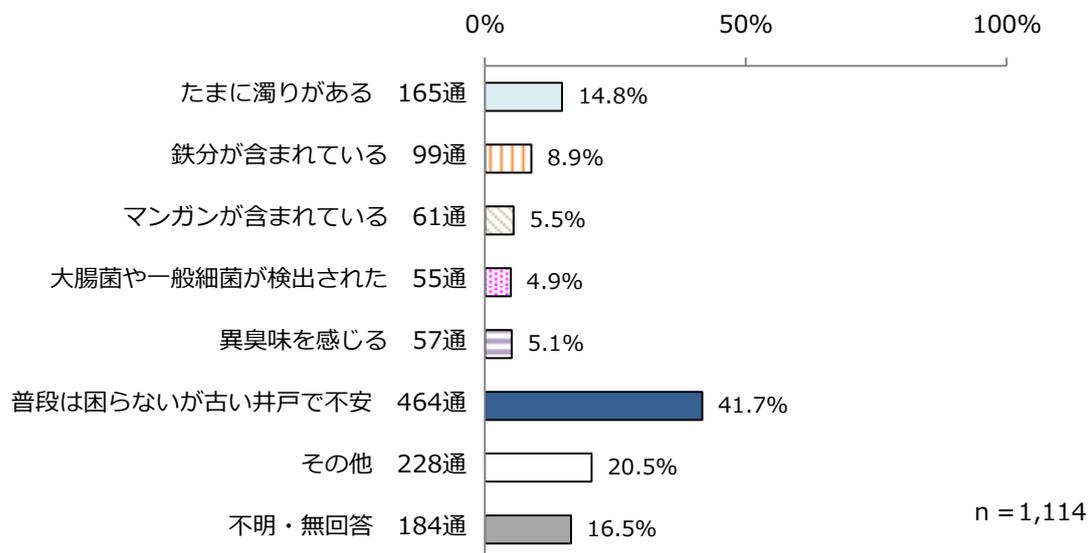
性別、年代別、校区別の詳細は次のとおりです。

n = 5,078 (性別)、5,055 (年代別)、4,953 (校区別)

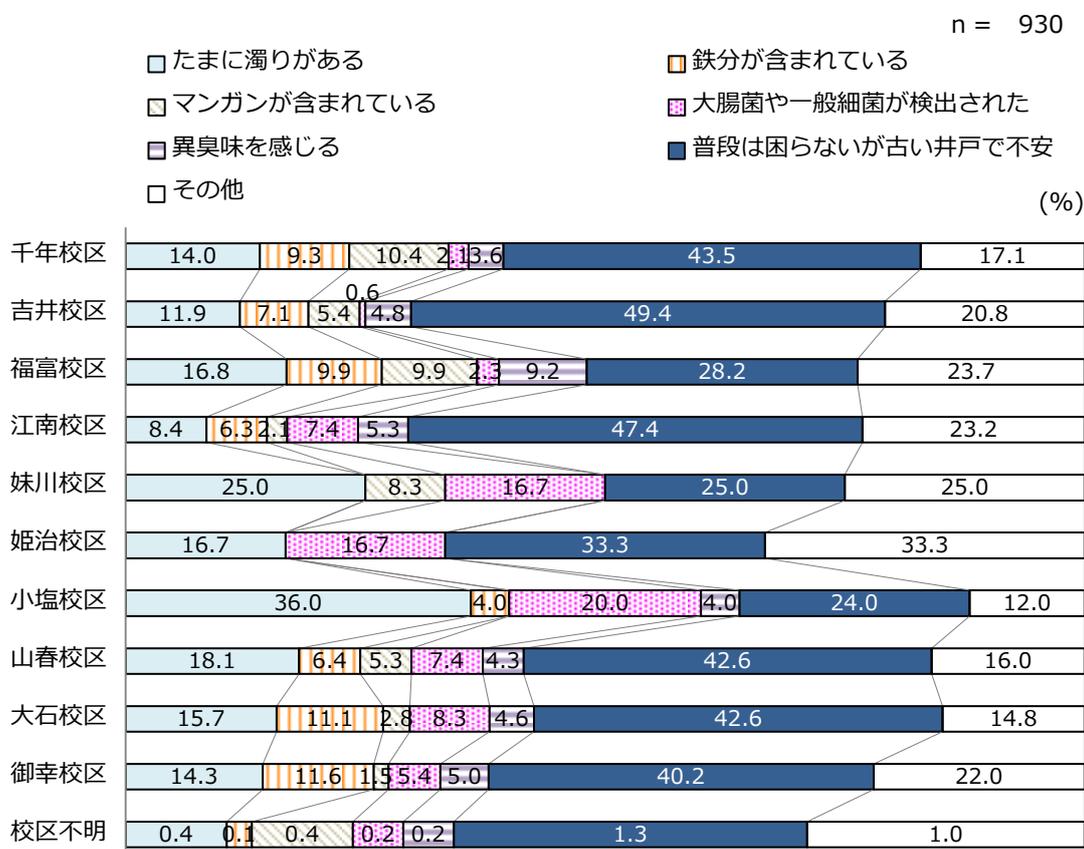


問7 水質の実態（問6で「不安」又は「多少不安」と答えた方のみ【複数回答】）

水質が不安な理由では、「普段使用する分には困らないが古い井戸なので水質に不安がある」が41.7%、「その他」が20.5%、「たまに濁りがある」が14.8%の順でした。「その他」の主な内容は、『砂が混じることがある』、『風呂や洗面器が青くなる』といった物質に基づく回答と『家の周りが田畑や果樹園のために消毒剤が地下水に浸み込まないか心配』、『ピロリ菌が気になる』、『なんとなく不安』など不安感から生じる回答がありました。

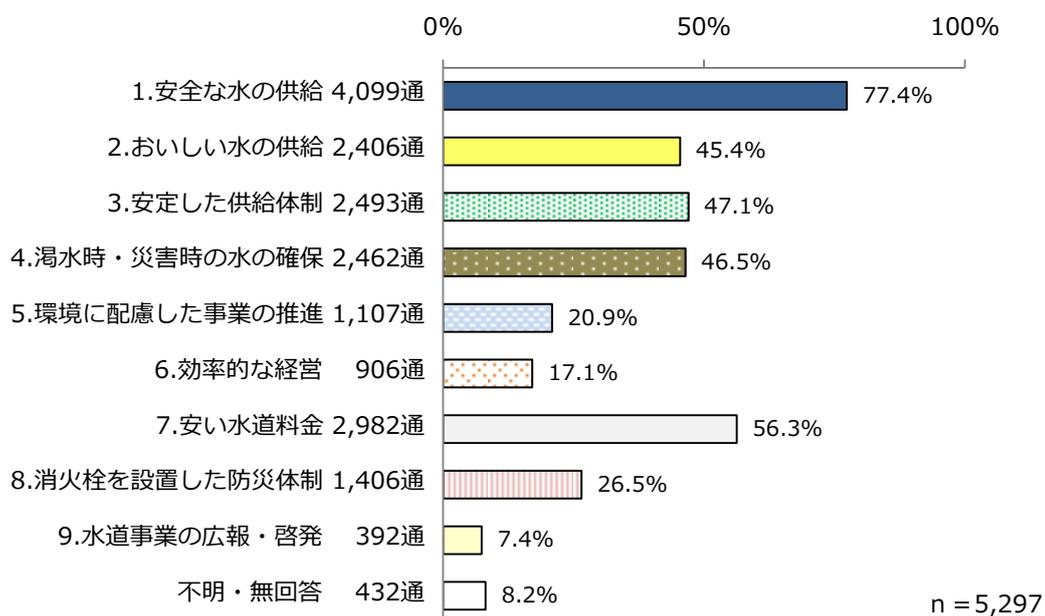


校区別の詳細は次のとおりです。

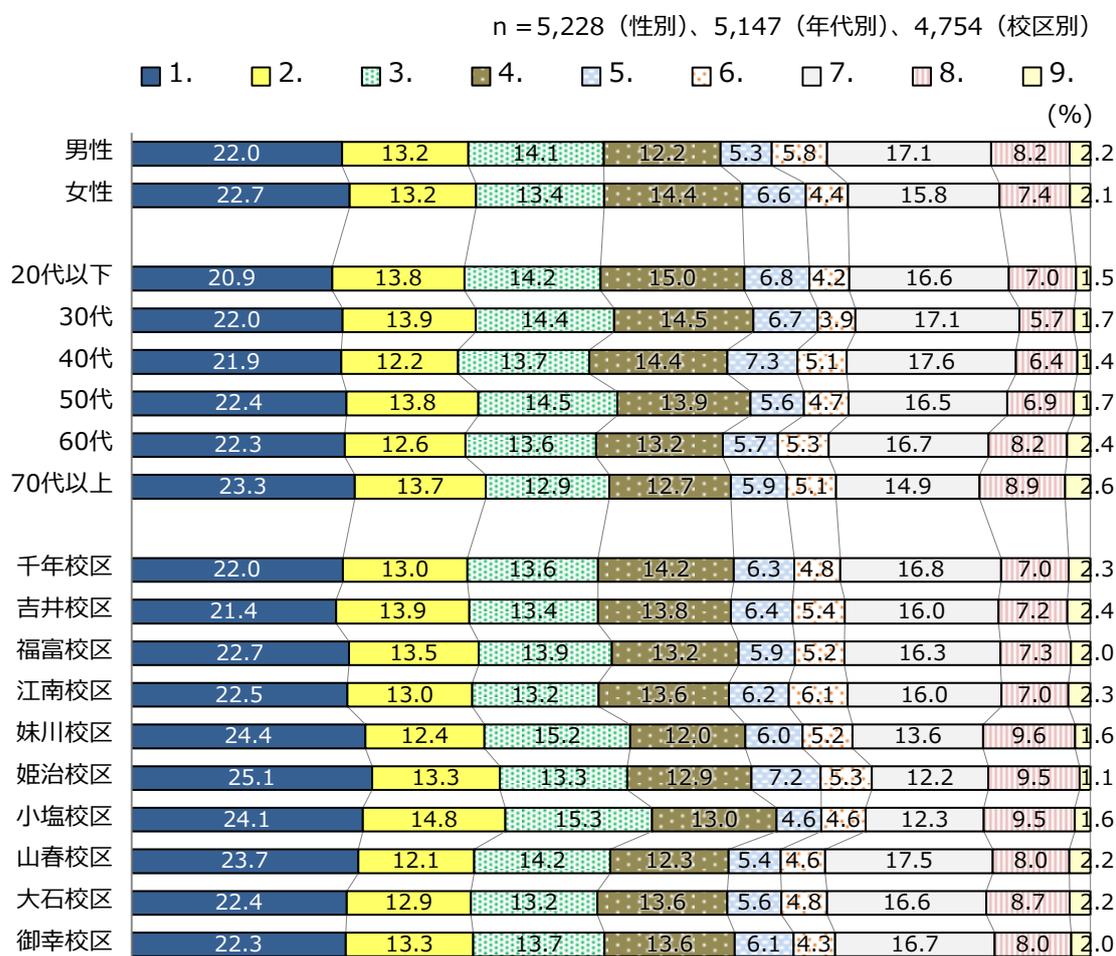


問8 上水道の重要性（上水道事業で重視すべきもの【複数回答】）

重視すべき項目では、「1.安全な水の供給」が77.4%、「7.安い水道料金」が56.3%と過半数を超え、回答者の半数が重視している項目といえます。

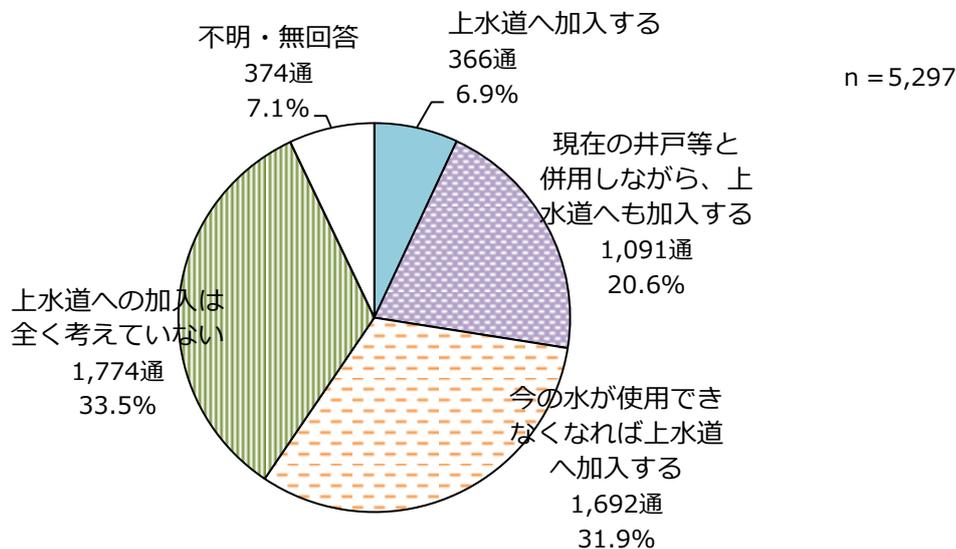


性別、年代別、校区別の詳細は次のとおりです。



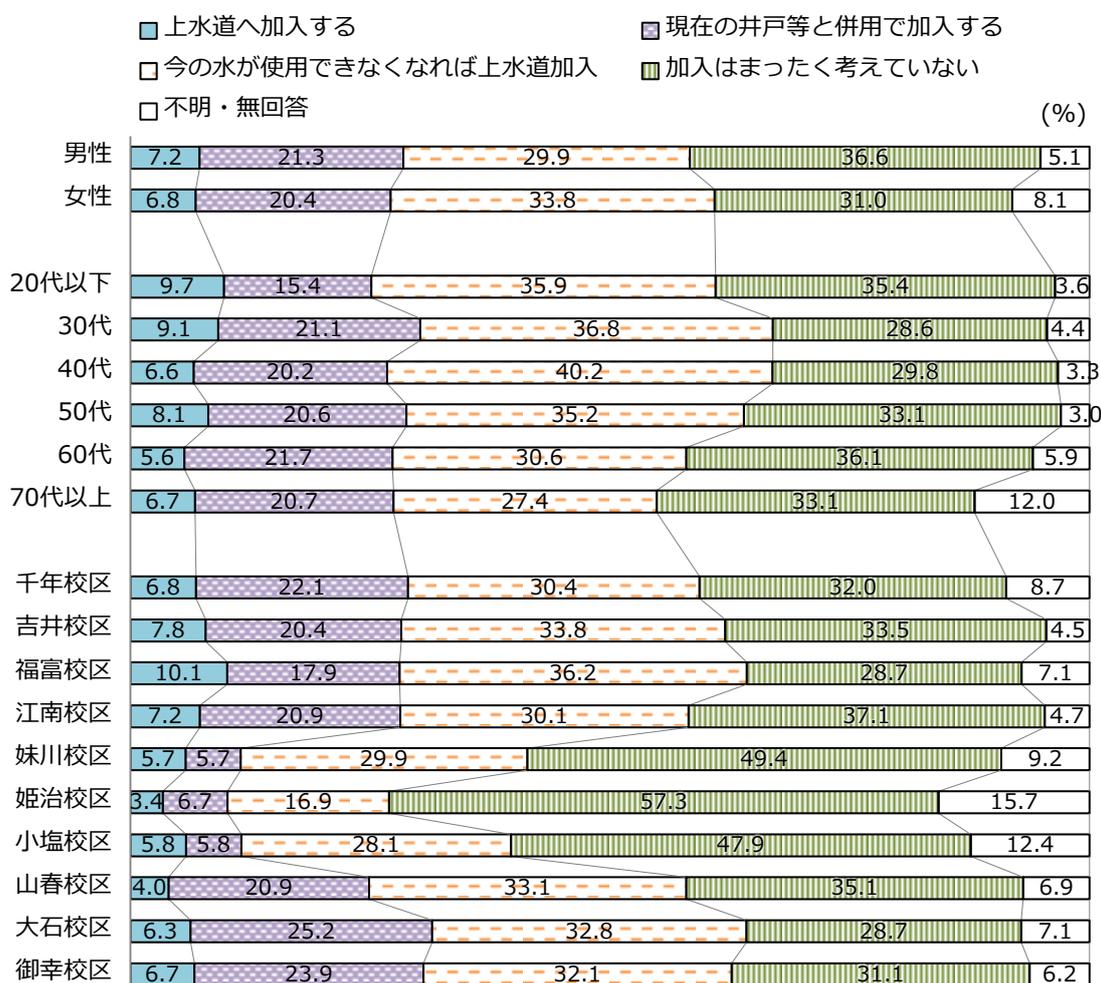
問9 上水道への加入について

「上水道へ加入する」が6.9%、「現在の井戸等と併用しながら、上水道へも加入する」が20.6%、「今の水が使用できなくなれば上水道へ加入する」が31.9%、「上水道への加入は全く考えていない」が33.5%、「不明・無回答」が7.1%でした。

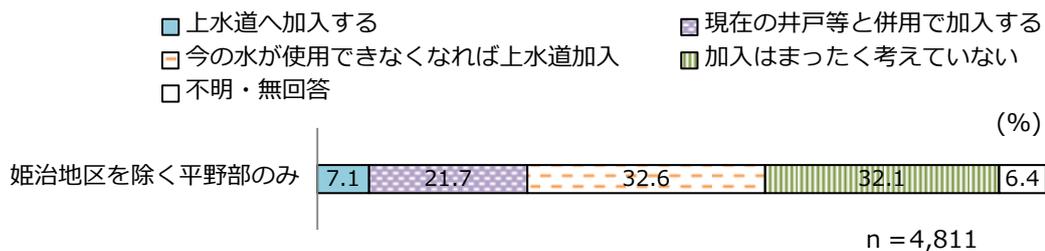


性別、年代別、校区別の詳細は次のとおりです。

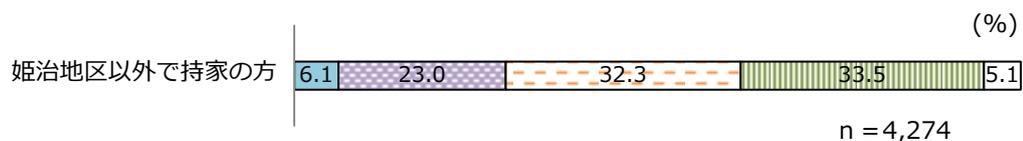
n = 5,243 (性別)、5,224 (年代別)、5,108 (校区別)



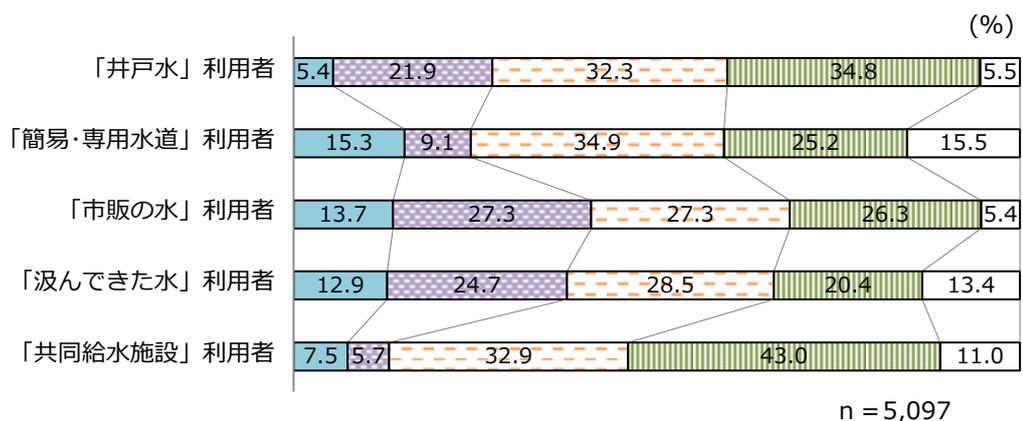
山間部の姫治地区(妹川・姫治・小塩校区)を除いた平野部のみの集計は次のとおりです。



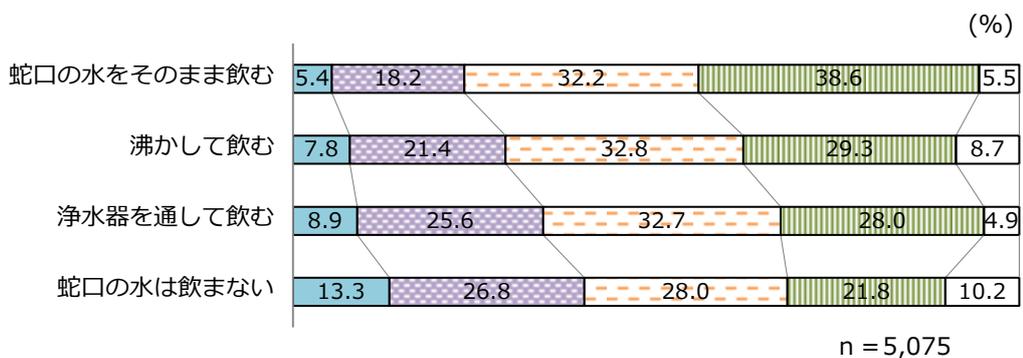
姫治地区を除いた平野部で、かつ問1の⑤を「持家」と回答された方は次のとおりです。



問2の「飲用水の種類」別による集計結果は次のとおりです。

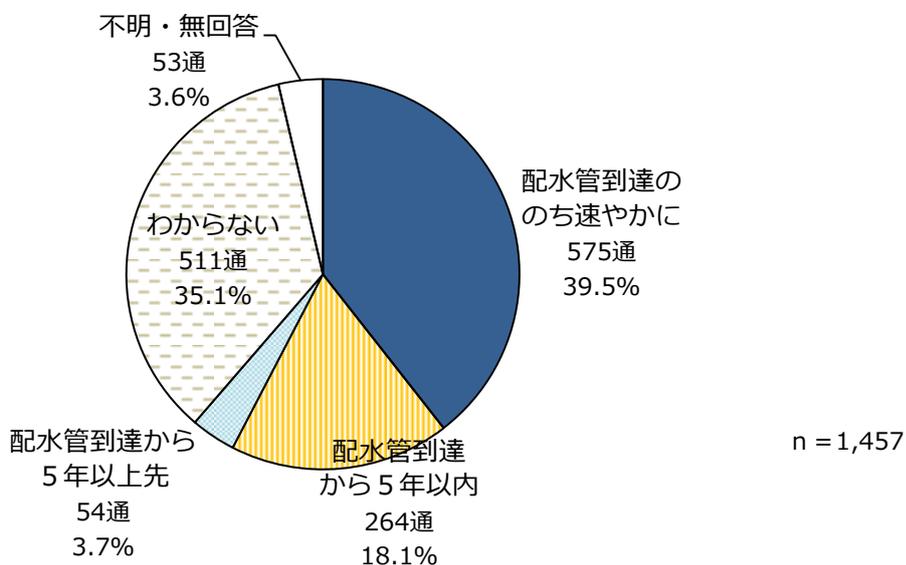


問3の「家の蛇口の水の飲み方」別による集計結果は次のとおりです。



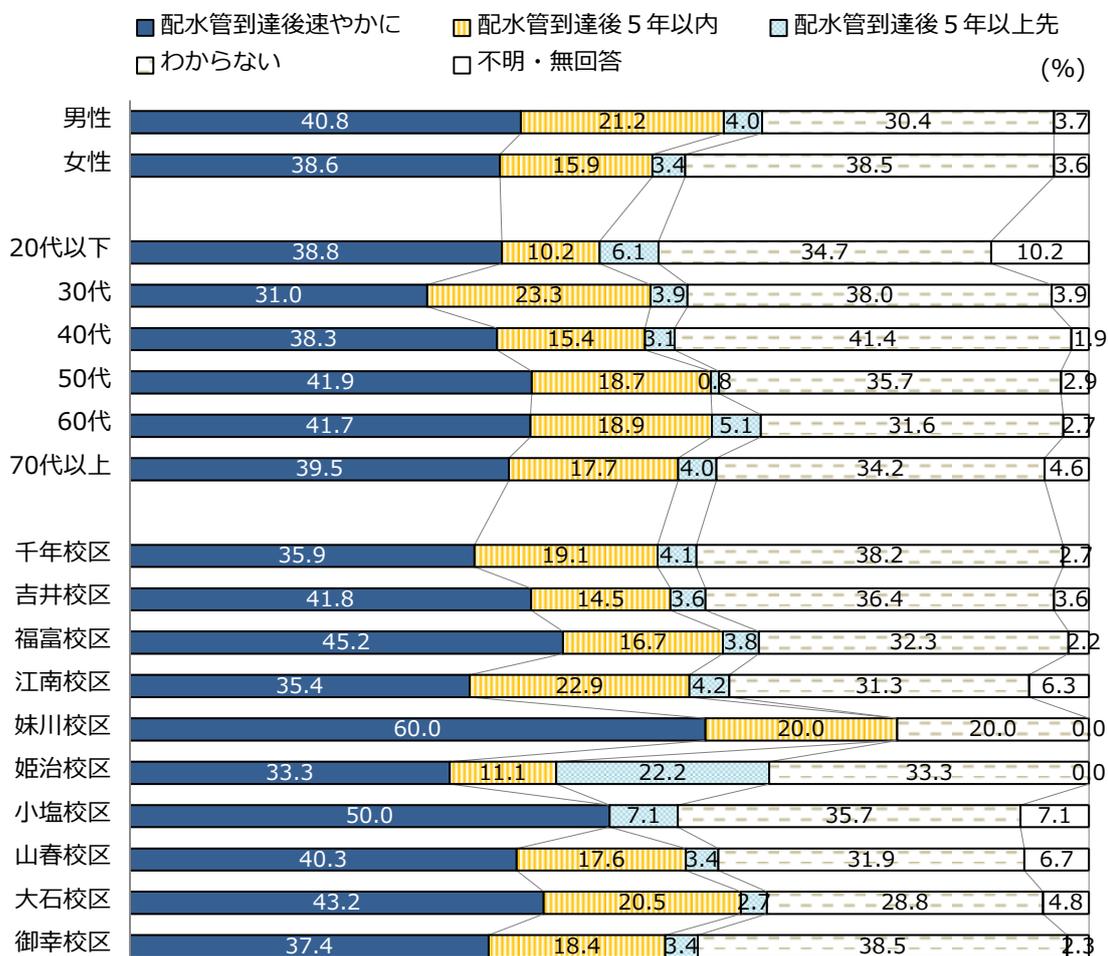
問10 上水道への加入時期について

問9で「上水道へ加入する」又は「現在の井戸等と併用しながら上水道へも加入する」と回答した方の加入時期についての回答は次のとおりです。「配水管到達ののち速やかに」が39.5%、「配水管到達から5年以内」が18.1%、「配水管到達から5年以上先」が3.7%、「わからない」が35.1%、「不明・無回答」が3.6%でした。



性別、年代別、校区別の詳細は次のとおりです。

n = 1,452 (性別)、1,446 (年代別)、1,421 (校区別)



問 1 1 自由意見

1,573名の方からご意見を頂きました。主な意見は次のとおりです。問9の回答別に掲載します。(個人や場所が特定されるものは一部表現を変更しています。)

「上水道へ加入する」と回答した方

- ・地下水だけに依存するのでは心もとないので上水道工事を進めてほしい。(50代男性)
- ・水は生命の生命線。井戸水、水脈が豊富と安心していられない。行政の財源状態では難しいと思われるが、20年30年スパンで考えると避けては通れない問題。土木事業は完成まで早くて30年近くかかると云われているのに、今やらねば消滅市町村になる。(70代男性)
- ・小石原川ダムからでも1日も早く供用開始して欲しいです。安心して飲用できる様をお願いします。(70代以上女性)
- ・安心安全な水を将来にわたって確保するためには環境汚染のリスクがさらに高まること予想される中、早急なる上水道の設置をお願いしたい。(60代男性)
- ・数年前に街から今のところに帰って来て水の事がいちばん気になり、お金をかけて井戸水をろ過する機械をつけました。早く上水道が利用できればうれしいです。(50代女性)
- ・一刻も早く工事をして欲しい(40代男性)
- ・A市から引っ越してきました。上水道がよかったです。先日泥水が家中の蛇口から出て色々と壊れました。上水道の迅速な対応をお願いします。(30代男性)

「現在の井戸等と併用しながら、上水道へも加入する」と回答した方

- ・安心して飲めるので1年でも早く上水道を通してほしい。(50代男性)
- ・家族内にピロリ菌の感染者がいる。色々な体の健康も心配があるので上水道整備については早い方がいいと思うが、水道料金をなるべく安くお願い出来ればと思う。料金についても事前に市民に知らせたうえで上水道を検討したい。(20代以下女性)
- ・井戸水しか選択できない現状に不満はありませんが、将来を見据えて上水道整備は早急に取り組むべきであると思います。ただし、水源先は水道料金を高くしない所が賛成です。(30代女性)
- ・企業を誘致する為にも必要だと思います。うきは市は企業が少ないので人口が減少しております。活性化する為にも上水道整備は必要だと思います。(70代以上男性)

- ・果樹畑の消毒等で水に対する不安がずっとあります。子供たちの為にも一日も早い上水道を望みます。(60代女性)
- ・水質検査をして安全という判定になっていますが水質は良くないようです。深い井戸を掘った方が良いと言われたこともあります負担が大きいですので、できれば上水道整備をぜひ進めていただきたいと思います。(50代女性)
- ・B市に住む知り合いの方も井戸と上水道を併用しています。安定供給が実現するのであれば併用も考えます。(50代女性)

「今の水が使用できなくなれば上水道へ加入する」と回答した方

- ・家族間でも意見が別れます。市外から嫁いできた私は安全面等で上水道を希望しますがずっと浮羽に住んでいる夫は井戸水の方が良いと言います。他所のカルキ臭のする水を全く受け付けないのです。(30代女性)
- ・上水道は消毒するために味、においが悪いと聞く。今の井戸水が使用できなくなれば上水道に切り替えます。その前に上水道の準備は必要と思います。(70代以上男性)
- ・個人負担金が多額になると思うと今の水道水で充分であると思うが、将来を見据えての水の確保は必須だとも思う。(50代女性)
- ・上水道加入の際の負担金をみますと初期費用が一般家庭に重くのしかかってくるので、他市町村を参考にして補助金などがあればいいなと思います。(40代女性)
- ・きれいな地下水が確保できない地域は早く上水道整備をされたら良いと思います。特にC地区などは困っていると聞きます。地下水が確保できる地域は地下水を利用すれば良いと思いますが、果樹の農薬散布が除草剤も含めて当たり前のようにになっている事を全ての人が考え直す必要があると思います。(60代女性)
- ・小石原川ダムの水を利用するより、浮羽町内にある合所ダムの水を利用する方が安くできるという話を聞いたことがあるが本当のところはわからない。下流の久留米市から水を運ぶとお金がかかりそう。(50代女性)
- ・上水道の整備は必要と思いますが、現在7人家族で下水道使用料が6,372円に上水道使用料金を合わせるとかかると1万円は超えます。料金設定は上水道下水道双方含めて協議をお願いしたい。うきは市は定期的に市内数ヶ所水道水の検査を実施していると思います。そのデータを開示できないでしょうか。現状を知るため。(70代以上男性)

「上水道への加入は全く考えていない」と回答した方

- ・現在の井戸水のままで十分だと思います。水量も豊富だし、水質も問題ありません。(20代以下女性)
- ・水にお金を払う事全く想像できません。井戸水で十分と思っているので、もしするのであれば上水道のメリットを教えてくださいたいと思います。小石原からではなく近くの合所ダムでいいと思いますけど1カ月5,000円はありえません。反対です。(30代男性)
- ・現在地下水で生活していますが何も問題はありません。現在は下水道も完備していますので水も美味しい。五庄屋のおかげで吉井町は水路があり水に恵まれていますので今までどおりの生活で良いと思います。(60代男性)
- ・上水道の整備事業がある事をしらなかった。井戸水を利用しているのでいまいち上水道の必要性がわからない。(30代女性)
- ・どうして水道にしなくてはいけないのですか。井戸水で十分なのに料金がかかる水道にしなくてはいけないのか。生活が苦しくなります。(40代女性)
- ・小石原川ダムだけでなく合所ダムの水源利用をとよく耳にしますが、そのことについてよくわかりません。私も合所ダムの水を利用した方が良いのではと思います。その点の説明が不十分なように思えます。如何なものでしょうか。(50代男性)
- ・うきは市には2つのダム、合所ダムと藤波ダムがあるのにわざわざ小石原川ダムから水を引く意味がわかりません。市民にちゃんと説明をしてほしい。現在地下水(井戸水)で安心して飲んでいるし、料金もかからないし、それをわざわざ高い料金を払ってまで飲む必要はない。今はまだ上水道の重要性には賛成できません。(50代女性)

全ての意見について、次のようにまとめることができます。

「自由意見」の主な内容	左記の主な理由
分類	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の地下水で充分である ・市の財政を考えて上水道の優先度は低い ・水源は地元の水を利用すべき ・送水距離が遠い不合理な計画である ・水道料の負担は難しい ・高齢世帯のため加入をためらう ・上水道の水はおいしくない
・上水道事業に賛成する意見「291通」	
・上水道事業に加入しない(できない)意見「497通」 →	
・事業概要への意見・質問「131通」	
・市民負担(料金・負担金等)について「238通」	
・市内のダム利用についての質問「257通」	
・その他「159通」	

4 資料（調査票）

うきは市「上水道事業」に関するアンケート実施について



市民の皆様へ

【アンケート調査の目的】

私たちの生活の中で、水は最も重要なものであり、安全安心で安定的な水の供給のために、水道事業が進められてきました。わが国では明治 20 年に横浜市で水道水の供給が始まり、特に戦後急速に水道が普及した結果、全国の水道普及率は 98% となっています。

うきは市では、現在多くの家庭で地下水を利用していますが、枯渇や水質汚染に対する懸念も指摘されています。また、市の発展を進めるうえで企業誘致のための安定した水の確保や防災上欠かせない上水道による消火栓の設置も求められているところです。

このような状況のなか、うきは市では**安全安心な水を将来にわたって確保**し、さらには地域や産業を支える社会基盤の充実を図るため、小石原川ダムを水源として、上水道の整備を行うことが必要となっています。

上水道整備にあたっては、市民の皆様のご理解、ご協力のもと進めていく必要があります。本アンケート調査は皆様のお考えを伺い、事業内容に反映させながら上水道整備を進めるために実施するものです。

何卒、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【調査票記入上のお願い】

- (1) この調査票は、全世帯にお送りしています。家族で話し合っ、最もあてはまる答えを選び、回答してください。もしも受取人（宛名の方）が回答できないときは、ほかの家族の方が回答してください。
- (2) 該当する番号を○で囲んでください。該当する項目がない場合は最も近いものに○をお願いします。またはその都度、設問の指示に従ってください。
- (3) 特に記載がない限り、記入日時点の状況をお書きください。
- (4) 現時点で上水道の給水区域は確定していません。給水区域は下水道の計画区域を参考に設定する予定ですが、布設のご希望があるすべての区域に上水道が整備されるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
- (5) 記入が終わりましたら、平成 27 年 7 月 31 日までに同封の返信用封筒で「調査票」のみ投函してください。

上水道事業についてのアンケート調査票

【問1】お住まい・ご家族について

- ① お住まいの行政区名を記入してください。番地は記入しないでください。

行政区名 () 区

- ② あなたと一緒に暮らしているご家族は何人ですか。本人や同居人も含みます。

() 人

- ③ あなた（記入者）の年代について、あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 20代以下 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代以上

- ④ あなた（記入者）の性別について、あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 男 2. 女

- ⑤ あなたの住居について、あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 持家（本人・家族の所有） 2. 借家（アパート・マンション・一戸建）
3. 官舎・社宅・寮・下宿 4. 公営住宅（市営・県営団地）

【問2】飲用水の種類について

あなたのお宅では、飲用水（直接飲む水や調理、お茶、コーヒー、紅茶などに使う水）は何を使用していますか。一番よく使うものをひとつ選び、○をつけてください。

1. 井戸水（浄水器等を通す場合を含む） 2. 水道の水※¹
3. 市販の水（ミネラルウォーター・ボトルウォーター） 4. 汲んできた天然の湧き水
5. 地域の共同給水施設の水※² 6. その他（ ）
7. わからない

※¹ 水道…市内では簡易水道（富永・鷹取地区）と専用水道（一部の公営住宅等）が該当します。

※² 共同給水施設…複数の世帯が共同で運営する給水施設で、山間部を中心に設置されています。

【問3】水の飲み方について

あなたのお宅では、蛇口から出る水を飲むとき、どのようにして飲んでいきますか。飲まない方もお答えください。一番多いものをひとつ選び、○をつけてください。

1. 蛇口から出した水をそのまま飲む 2. 沸かして飲む
3. 浄水器を通して飲む 4. 蛇口からの水は飲まない
5. その他（ ）

【問4】水の再利用の状況について

あなたのお宅では、お風呂の水を洗濯や散水に再利用したり、台所・洗面所・トイレで節水を心がけていますか。一番近いものをひとつ選び、○をつけてください。

1. いつも再利用や節水をしている
2. ときどき再利用や節水をしている
3. ほとんど再利用や節水をしない

【問5】水量について

あなたのお宅では、現在お使いの水の水量は十分ですか。あてはまるものをひとつ選び、○をつけてください。

1. 水量不足になったことはない
2. たまに水量不足になることがある
3. しばしば水量不足となる

【問6】水質について

あなたのお宅では、現在お使いの水の水質はいかがですか。あてはまるものをひとつ選び、○をつけてください。

1. 検査の結果、飲料適合の判定なので安心している → 問8へ
2. 検査の結果、飲料不適の判定で不安である
3. 検査はしていないが、不安はない → 問8へ
4. 検査をしていないので、多少不安がある

【問7】水質の実態について

問6で、2. 4. を選んだ方で、見た目やにおいなどで水が気になることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. たまに濁りがある
2. 元来、鉄分が含まれている
3. 元来、マンガンが含まれている
4. 大腸菌や一般細菌が検出される、または検出されたことがある。
5. 異臭味を感じることもある
6. 普段使用する分には困らないが、古い井戸なので水質に不安がある
7. その他 ()

【問8】上水道の重要性について

上水道事業では何を重視すべきだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(別紙 **参考資料** の **上水道の重要性** もあわせてご覧ください。)

1. 安全な水の供給
2. おいしい水の供給
3. 安定した供給体制
4. 渇水時・災害時の水の確保
5. 環境に配慮した事業の推進
6. 効率的な経営
7. 安い水道料金
8. 消火栓を設置した防災体制
9. 水道事業の広報・啓発

【問9】上水道への加入について

今後上水道が整備されたら、上水道へ加入することをお考えですか。あてはまるものをひとつ選び、○をつけてください。

(井戸水・簡易水道・専用水道・飲料水給水施設などからの切り替えを含みます。ただし、現在のところうきは市内の給水区域は決定していません。布設の希望がある地域すべてに必ず上水道が整備されるとは限りません。)

1. 上水道へ加入する
2. 現在の井戸等と併用しながら、上水道へも加入する※
3. 今の水が使用できなくなれば上水道へ加入する → 問11へ
4. 上水道への加入はまったく考えていない → 問11へ

※井戸水との併用…水道水と井戸水は別の配管にする必要があります。例えば台所の蛇口を水道水、散水用の蛇口を井戸水にするなどの区別が現実的です。

【問10】上水道への加入時期について

問9で 1. 2. を選んだ方で、上水道に加入するとすれば何年後くらいでしょうか。あてはまるものをひとつ選び、○をつけてください。*

1. 配水管到達ののち速やかに
2. 配水管到達から5年以内
3. 配水管到達から5年以上先
4. わからない

※上水道工事は、小石原川ダムが供用開始される平成32年4月1日を目途に行う予定です。また、上水道の配水管工事は市内全域を一度にできるものではありません。順次工事を行っていきますので、配水管がご自宅の前まで到達してから何年後かを選択して下さい。

【問11】上水道整備についてご意見があれば自由にご記入ください。

～質問は以上です。お忙しい中ありがとうございました。～



記入したら



封筒に入れて

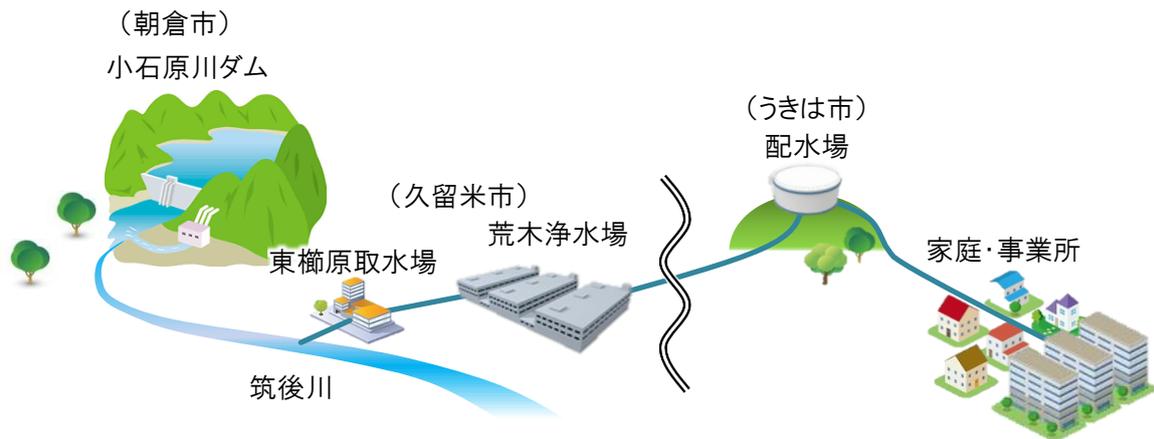


ポストに投函
回答期日 7/31

参考資料（こちらの返信は不要です。）

上水道とは

上水道はダム・河川などから浄水場へ送られた水を、浄水処理（不純物を除去・ろ過するなど）してきれいな水にします。皆さんのもとへ24時間、365日いつでも衛生的な水をお届けする仕組みです。うきは市では小石原川ダム事業に参画し、福岡県南広域水道企業団に加入して水道事業を始める予定です。



上水道の重要性

上水道事業の重要性として次の利点が考えられ、市民福祉の向上と市の発展が期待できます。

1. 安全な水の供給 → 衛生的な水を使うことができる。
2. おいしい水の供給 → 水源の環境変化に左右されない水を供給することができる。
3. 安定した供給体制 → 将来的な水への不安が解消される。
4. 渇水時・災害時の水の確保 → 渇水に強く、停電時でも使用できる。
5. 環境に配慮した事業の推進 → 水資源の効率的な利用ができる。
6. 効率的な経営 → 行政の責任のもと、安定した水道経営を行うことができる。
7. 安い水道料金 → 行政改革のもとに効率な経営を行うことで料金の上昇を一定抑えることができる。
8. 消火栓を配置した防災体制 → 消防水利による安全安心なまちづくりができる。
9. 水道事業の広報・啓発 → 企業立地や都市部からのUターンを増やすことができる。

水道料金について

アンケートをお願いするにあたり、本来であればうきは市の水道料金を推測して提示するのが理想です。しかしながら、最終的な接続率や給水地域の見込み（どこまでを給水地域とするのか）が立てられないため、配水施設や給水管をどれだけ工事するのかが決められないことから全体の事業費がつかめません。

参考として、使用料や負担金などについて、以下に近隣自治体の料金を掲載します。計算方法は、各自治体によって異なります。（一部で小数点以下を端数処理しています。）

【上水道月額使用料の例】（H27年1月現在）

一か月 25 m³（3人世帯の平均使用水量）使用した場合（口径 20 mm の場合：税込み）

自治体	基本料金※ ¹	従量料金（1 m ³ ）※ ²	メーター使用料※ ³	合計
大川市	8 m ³ まで 1,274 円	15 m ³ まで 221 円 25 m ³ まで 238 円 26 m ³ 以上 259 円	25 mm 以下 50 円 40 mm 以下 150 円 75 mm 以下 800 円 100 mm 以下 1,000 円	
	1,274 円	3,926 円	50 円	5,250 円
大牟田市	20 mm 1,188 円 25 mm 1,371 円 30 mm 3,402 円 など	10 m ³ まで 40 円 20 m ³ まで 232 円 21 m ³ 以上 316 円		
	1,188 円	4,303 円	0 円	5,491 円
広川町	10 m ³ まで 2,160 円	11 m ³ 以上 216 円	13 mm 52 円 20 mm 103 円 25 mm 155 円 など	
	2,160 円	3,240 円	103 円	5,503 円
筑前町	10 m ³ まで 2,160 円	20 m ³ まで 216 円 50 m ³ まで 248 円 51 m ³ 以上 291 円	13 mm 108 円 20 mm 108 円 25 mm 216 円 など	
	2,160 円	3,400 円	108 円	5,668 円
八女市	20 mm 10 m ³ 2,203 円 25 mm 15 m ³ 3,564 円 40 mm 35 m ³ 8,812 円 など	231 円		
	2,203 円	3,467 円	0 円	5,670 円

※1 基本料金は水道メーターの口径や目的によって料金が定められています。定額料金のため、毎月変わることはありません。

※2 従量料金は 1 m³あたりの単価料金で、使用水量が多くなるほど高くなります。

※3 メーター使用料は口径別の定額料金です。基本料金に含めている自治体もあります。

【上水道加入の際の負担金などの例】（H27年1月現在）

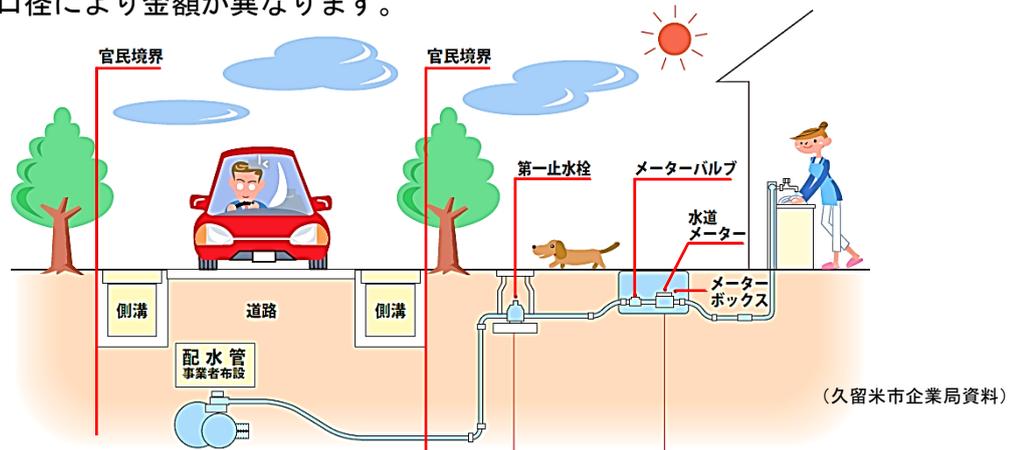
用語の説明

「内線工事」…宅地内の管工事のこと。工事費用は個人が負担します。

「外線工事」…公道上の水道本管から宅地内の止水栓または水道メーターまでの管工事のこと。工事費用は基本的には個人負担ですが、市町村によっては申し込み時期により減額されることがあります。

「加入金」…水道法に基づき市が制定する水道（給水）条例で定められるもので、水道施設の整備拡充などを図る目的で加入者にお支払いいただくものです。

「工事手数料」…工事申込書の申請に伴う審査などの手数料としてお支払いいただきます。配水管の口径により金額が異なります。



◎久留米市田主丸町域の例（一般住宅：口径20^{ミリ}の場合。税込み）

	早期接続優遇制度を利用した場合 (配水管布設工事翌年度より 1年以内の申込み)	通常かかる初期費用
内線工事費	平均 150,000 円 ※ ¹	平均 150,000 円 ※ ¹
外線工事費	54,000 円 ※ ²	平均 200,000 円 ※ ¹
加入金	32,400 円 ※ ³	64,800 円
工事手数料	3,000 円	3,000 円

◎朝倉郡筑前町の例（一般住宅：口径20^{ミリ}の場合。税込み）

	早期接続優遇制度を利用した場合 (配水管布設工事年度の前年度 末までの申込み)	通常かかる初期費用
内線工事費	平均 150,000 円 ※ ⁴	平均 150,000 円 ※ ⁴
外線工事費	0 円 ※ ⁵	平均 225,000 円 ※ ⁶
加入金	129,600 円	129,600 円
工事手数料	0 円 ※ ⁷	3,000 円

※¹ 工事により異なりますが、久留米市で工事費の目安として説明されている工事費です。

※² 市が発注する配管布設工事と同時に行うので安くなります。

※³ 配水管工事年度の翌年度から1年以内の工事で50%、2年以内で35%、3年以内で20%減額されます。

※⁴ 久留米市で工事の目安として説明されている金額です。

※⁵ 全額町が負担します。

※⁶ 工事により異なりますが、筑前町で目安として説明されている15~30万円の平均値です。

※⁷ 給水開始後1か月以内に内線工事を行った場合は無料になります。

